

学 科	介護福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	376 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	1・2年生		学期及び曜時限	通年 2月・6月	教室名	実習施設
担 当 教 員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
学校で学んだ理論や方法を施設実習でⅡ－①、②と展開し体験して、個々の利用者に合わせた日常生活の介護の応用能力を養う						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価表:50% 実習日誌記録物:50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所						
《授業外における学習方法》						
全ての教科の授業内容が関連し、施設での総合的、応用的な知識、技術の実践を行う。そのため、今まで学んだ内容の復習及び事前学習を自ら行うことを求めている。						
《履修に当たっての留意点》						
介護過程の授業との関連性から、介護計画立案、実施、評価を行います。授業内容を理解し、利用者個別の介護計画の立案に向けて取り組んでいくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解し、その人らしさを引き出すことができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	個別ケア、自立支援について、その人らしさ			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	行事やレクリエーション等の意義を理解できている	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	行事やレクリエーション等の意義を学ぶ			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	参加者の様子、介護者の関わりを観察し、情報把握、収集ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	参加者の様子、介護者の関わりを観察する			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	準備、実施、評価等介護者の役割について理解する	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	レクリエーションを企画、運営し、評価を行う			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	老人福祉法制定後の介護に関連する施策の概要を理解することができる。	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	介護保険法に至る中での、日本の介護福祉の変化のありようについて理解し、今日の介護について知る。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護福祉士としての一連の介護過程の展開を実践することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護過程の展開についての復習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 情報収集し、アセスメントができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護過程の情報収集、アセスメントについて		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 生活課題の明確化・立案ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	生活課題の明確化・立案		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護計画に基づき、実施ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護計画の理解、計画の実施		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標 実施したことを評価・修正できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護計画の実施後の評価、修正、再アセスメント		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標 多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員として介護を遂行することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	多職種連携、チームケアについて		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標 変則勤務における情報の共有がおこなえる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	変則勤務(早, 遅, 夜間)を理解する 情報共有の方法について知る		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標 利用者の継続的な観察の重要性について理解できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	24時間ケアを提供することの意味、継続性について		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護福祉士を目指すものとして専門性のあり方を理解できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	ICFの視点、求められる介護福祉士像		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標 利用者の「できる活動」を見出し、「する活動」へと支援することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	ICFの視点、求められる介護福祉士像		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規)15 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、食事に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・授業プリント	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、食事に関連したしくみを理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、排泄に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、排泄に関連したしくみを理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、睡眠に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、睡眠に関連したしくみを理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人が移動する必要性や移動の効果について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 人が移動するためのからだのしくみを理解する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動が不自由になる要因を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 移動が不自由になると生じる状態について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動について日常生活の観察のポイントを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したところとからだのしくみの講義 第3節 介護をするべきか、訓練や治療をするべきかの判断のポイントを理解する。			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身じたくに関連するからだのしくみについて説明できる(目、耳、爪・毛髪・口腔・歯・舌)	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第1節 身じたくに関連するからだのしくみについて理解する			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身の機能低下身じたくに及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第2節 身じたくを整えることを妨げる要因について理解する			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第3節 身じたくのなかで気づくことのできる心身の変化や機能低下を把握するための観察事項を理解する			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	。と清潔保持の必要性について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第1節 入浴・清潔の意義と効果について理解する。入浴・清潔保持のしくみについての汚れが皮膚に及ぼす影響を理解する			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第2節 心身機能の低下が及ぼす清潔保持への影響について理解する			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持の前に確認する内容について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第3節 入浴・清潔保持の前に確認する内容や、心身の状態について理解する。 変化の気づきと対応について理解する。			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	死にゆく人に関連したしくみを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみの講義 第1節 終末期に関する基礎知識や死の捉え方について理解する。看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期から「死」までの変化と特徴を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみの講義 第2節 終末期から死までの身体機能の変化を理解する。状況に合わせた対応について理解する。			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動・身じたく・入浴に関連したところとからだのしくみについて振り返りを行い、説明できる知識を深めることができる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	移動・身じたく・入浴に関連したところとからだのしくみについて振り返りを行い、理解する			

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規)15 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について 看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	「死」に対する心の理解 死に対する不安や恐怖、死を受容する段階、家族を死を受容する段階(DVD視聴)を理解できる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期から危篤状態、死後の身体機能の変化について理解する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期における医療職との連携 状況に合わせた対応について理解する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り こころのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	健康とは、人間の欲求の基本的理解、自己概念と尊厳について理解する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年時の振り返り からだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	身体各部の名称、ホメオスタシス、バイタルサインについて理解する		
第7回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年時の振り返り 移動に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	移動に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、移動に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第8回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 身じたくに関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	身じたくに関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、身じたくに関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第9回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 食事に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	食事に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、食事に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携について理解する		
第10回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、入浴、清潔保持に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第11回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 排泄に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	排泄に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、排泄に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第12回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 休息・睡眠に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、休息・睡眠に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第13回	講義形式 授業を通じての到達目標	復習 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について、死に対するころの理解、終末期の身体変化について理解する		
第14回	講義形式 授業を通じての到達目標	ころとからだのしくみ総まとめ	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	1, 2年の授業振り返り		
第15回	講義形式 授業を通じての到達目標	授業まとめ、国家試験過去問	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	振り返り、まとめ、試験対策		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術(手話)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 金曜2限	教室名	401
担 当 教 員	池上 誠 木村 昭人	実務経験と その関連資格	視覚障がい者手話講師			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害者とのコミュニケーションの技法、手話表現を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
演習70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医療の手話シリーズ 手話で必見！医療のすべて一般財団法人 全日本ろうあ連盟						
《授業外における学習方法》						
生活支援技術Ⅲの教科にて、視覚障害者の接し方学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
非言語的コミュニケーションの理解を深めていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	指文字で名前を覚える。	配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマに おける 授業予定	伝えることの重要性を知る			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマに おける 授業予定	伝えることの重要性を知る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語(数字)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疑問詞の表現を学ぶ。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	疑問詞の表現		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	手話を理解している確認ができる。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講(パラスポーツ)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 金3限	教室名	402・体育館
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験とその関連資格	スポーツ・医療福祉分野で障がい者スポーツ指導、福祉レクリエーションの指導を実施。			
《授業科目における学習内容》						
初級パラスポーツ指導員資格取得の講義とする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障害のある方へのスポーツ指導・関わり方入門ハンドブック (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
テキスト、配布資料を参考に予習・復習を行う。 授業で得た知識を実習に活かし、スポーツやレクリエーションを通して障がいを持った方と交流ができるようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
初級パラスポーツ指導員養成を中心に教授・実技する。 「障害の理解」「健康科学講座」の授業との関連性もあるので、予習・復習をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	配布資料・PPT		配布資料を事前に読んでおく。
	各コマにおける授業予定		スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	配布資料・PPT		配布資料を事前に読んでおく。
	各コマにおける授業予定		スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	配布資料・PPT		配布資料を事前に読んでおく。
	各コマにおける授業予定		障がい者スポーツの意義と理念①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	配布資料・PPT		配布資料を事前に読んでおく。
	各コマにおける授業予定		障がい者スポーツの意義と理念②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ大会の目的、意義について学べる。	配布資料・PPT		配布資料を事前に読んでおく。
	各コマにおける授業予定		全国障害者スポーツ大会の概要①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のスポーツ振興進めていくことができるように、実施競技を知る。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキルを身につけていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人前で話すこと、相手の意見を傾聴することができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(実技の展開時のプレゼン)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者福祉施策とその変換を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する施策を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	安全管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格取得後の活動、情報入手方法を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの推進の取り組み		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設訪問)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設訪問)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツについての理解を深めていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者施設のふれあい体験の振り返りと総まとめ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講(パラスポーツ)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 金3限	教室名	402・体育館
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験とその関連資格	スポーツ・医療福祉分野で障がい者スポーツ指導、福祉レクリエーションの指導を実施。			
《授業科目における学習内容》						
初級パラスポーツ指導員資格取得の講義とする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障害のある方へのスポーツ指導・関わり方入門ハンドブック (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
テキスト、配布資料を参考に予習・復習を行う。 授業で得た知識を実習に活かし、スポーツやレクリエーションを通して障がいを持った方と交流ができるようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
初級パラスポーツ指導員養成を中心に教授・実技する。 「障害の理解」「健康科学講座」の授業との関連性もあるので、予習・復習をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツの基本	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	スポーツの価値 障がいのある方のQOL向上、2次障害の予防 スポーツ環境の充実			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある方へのスポーツ指導の入口	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	スポーツ指導する際の心構え スポーツを実施するための環境整備			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある方へのスポーツ指導の入口	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	スポーツを実施するための工夫 指導対象者とのコミュニケーション 障害のある方へのスポーツ指導のメリット			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある方へのスポーツ指導の実践 障害特徴・指導方法・安全管理	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	障がいの特徴や指導方法、安全管理について 肢体不自由・視覚障害・聴覚障害			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある方へのスポーツ指導の実践 障害特徴・指導方法・安全管理	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	内部障害			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害のある方へのスポーツ指導の実践 障害特徴・指導方法・安全管理	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	知的障害・発達障害・精神障害		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ボッチャ・フライングディスク		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践指導	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ボッチャ・フライングディスクの実践指導		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ・レクリエーションの実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者(老健施設)のレクリエーション計画		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ゴールボール		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	サンドテーブルテニス		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	スラローム競技		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	車いすバスケットボール		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践の振り返り	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	車いすバスケットボール		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ実践の振り返り	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉特講(パラスポーツ)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 金3限	教室名	402
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 海外研修を通して欧米の福祉分野の標準を意識し、国際的視野の拡大に繋げる。 専門分野の学習に加えて、自国の制度、歴史、伝統などを理解し日本人としてのアイデンティティを持って外国の方とコミュニケーションができる為にアメリカの医療福祉制度と文化について学習する。						
《成績評価の方法と基準》 レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 テキスト:なし(関係資料の配布あり)						
《授業外における学習方法》 1. 各々の講義において予習をし、質問も考えておく。 2. アメリカの文化について事前学習する。 3. プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》 講義では、積極的に質問したり意見を述べたりできるよう、不明な言葉(読み・意味)を事前に調べておくようにしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	提携校の事前調査	
		各コマにおける授業予定	海外提携校 授業の予習			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料		
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション資料の作成(プレゼン・サンキュースピーチ)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分	
		各コマにおける授業予定	海外提携校 オンデマンド授業			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分	
		各コマにおける授業予定	海外提携校とのセッション(プレゼン含む)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分	
		各コマにおける授業予定	ILC英会話① 国際交流の英会話			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	ILC英会話② 問診時の英会話		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	ILC英会話③ 検査時の英会話		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	ILC英会話④ 医療処置時の英会話		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	ILC英会話⑤ 薬局での英会話		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカのヘルスケア制度について① 海外事業部講義		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカのヘルスケア制度について② 海外事業部講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカの高齢者施設について①		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカの高齢者施設について② 課題作業		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカの医療・福祉の資格制度について①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	下記について理解することができる。	配布資料	事前学習 予習30分 事後学習 復習30分
		各コマにおける授業予定	アメリカの医療・福祉の資格制度について② 課題作業		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	業界特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 金3限	教室名	402
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験と その関連資格	スポーツ・医療福祉分野で障がい者スポーツ指導、福祉レクリエーションの指導を実施。			
《授業科目における学習内容》						
医療福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、専門職として求める人材について理解しキャリア設計に役立てる						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
就職活動サポート BOOK						
《授業外における学習方法》						
自身の適性や能力を把握しながら、どのように経験を積みたいか、目標を具体的にし、選考の場面でそれを丁寧に伝えることを心掛ける						
《履修に当たっての留意点》						
主体性持つ。マナーを磨く。自己管理を意識。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ガイダンス、就職活動のルール	就職活動サポートBOOK 就職希望カード	事前学習30分 事後学習30分	
		各コマにおける授業予定	就職活動の心得 キャリアセンターの活用目的、就職希望カードの記載について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ガイダンス、就職活動のルール	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分	
		各コマにおける授業予定	就職希望カードの記載完成 就職指導計画と就職活動の流れ 学内書式の説明			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分	
		各コマにおける授業予定	業界研究①業種理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分	
		各コマにおける授業予定	業界研究②職種理解			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分	
		各コマにおける授業予定	履歴書の完成を目指す			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について 履歴書作成	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	自己PR①		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について 履歴書作成	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	自己PR②		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について 履歴書作成	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	志望理由①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職関連書類について 履歴書作成	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	志望理由②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	採用試験対策 面接試験について	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	面接技法①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	採用試験対策	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	面接技法②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	採用試験対策 記述試験について	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	小論文と作文①		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	採用試験対策	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	小論文と作文②		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	採用試験対策	就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	小論文と作文③		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		就職活動サポートBOOK	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	業界特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 金3限	教室名	402
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験と その関連資格	スポーツ・医療福祉分野で障がい者スポーツ指導、福祉レクリエーションの指導を実施。			
《授業科目における学習内容》						
医療福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、専門職として求める人材について理解しキャリア設計に役立てる						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料, PPT						
《授業外における学習方法》						
医療福祉現場で従事する方々の資格や業務内容に関心を持つ						
《履修に当たっての留意点》						
「人間関係とコミュニケーション」での関連性がある多職種連携について予習・復習をしておく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉分野の多職種連携	配布資料	事前学習30分 事後学習30分	
	講義形式	各コマにおける授業予定	現場で従事する専門職を理解できる			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分	
	講義形式	各コマにおける授業予定	看護師・保健師の業務内容を理解できる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分	
	講義形式	各コマにおける授業予定	看護師・保健師と介護福祉との関わりを理解できる			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分	
	講義形式	各コマにおける授業予定	リハビリ専門職の業務内容を理解できる			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分	
	講義形式	各コマにおける授業予定	理学療法士・作業療法士等と介護福祉との関わりを理解できる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の業務内容を理解できる		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	機能訓練指導員・健康運動指導士・実践指導者、介護予防運動トレーナー と介護福祉との関わりを理解できる		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	医療事務・介護事務の業務理解と介護福祉との関わりを理解できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	社会福祉士・精神保健福祉の業務理解ができる		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	相談援助業務と介護福祉との関わりを理解できる		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	薬剤師の業務理解ができる		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	薬剤師と介護福祉との関わりを理解できる		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	歯科衛生士の業務理解ができる		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	現場の専門職	配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	歯科衛生士と介護福祉との関わりを理解できる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		配布資料	事前学習30分 事後学習30分
		各コマにおける授業予定	まとめ レポート		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	社会の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	二年生		学期及び曜時間	前期 木曜3限目	教室名	401
担当教員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。社会の理解後半の学期(2022年前期)では、次の3点について学ぶ。</p> <p>①高齢者保健福祉と介護保険制度。 ②障害者保健福祉と障害者総合支援制度。 ③介護実践に関連する諸制度。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の動向		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉制度の基本的な仕組みを理解し、現状、課題をとらえる。				
第2回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉に関連する法体系		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を支えるために関連する法体系の中で高齢社会対策基本法、老人福祉法、老人福祉計画、老人保健法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度について概要を理解する				
第3回	授業を通じての到達目標	介護保険制度1		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する1				
第4回	授業を通じての到達目標	介護保険制度2		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する2				
第5回	授業を通じての到達目標	介護保険制度3		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する3				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉の動向		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者福祉の歴史をふまえ障害者福祉の理念を理解し、障害者福祉の動向の基礎を学ぶ。			
第7回	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉に関連する法体系		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者保健福祉の法体系の全体像を把握し、各法律における障害者の定義を学ぶ。障害児の支援制度を知る。			
第8回	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度1		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度が出来上がるまでの背景や目的を理解し、国、都道府県、市町村の役割を知る。自立支援給付と地域生活支援事業について学ぶ。			
第9回	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度2		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度法の利用手続きを学ぶ。また、相談支援の重要性を理解する。			
第10回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度1		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	個人の権利を守る制度・施策を理解する。4つの虐待防止法について学ぶ。成年後見制度と日常生活自立支援事業について目的と違いを通して理解する。消費者保護、個人情報保護、第三者評価、苦情解決・不服申し立ての各制度について学ぶ。			
第11回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度2		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	保健医療に関する制度・施策について学ぶ。			
第12回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度3		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を学ぶ。生活保護法、生活困窮者自立支援法の概要について理解する。その他の貧困対策、生活困窮者支援に関する制度・施策について理解する。			
第13回	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度4		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域生活を支援する制度・施策について学ぶ。就労支援・雇用促進に関する制度、住生活を支援する制度、自殺を予防する制度について理解する。			
第14回	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ1		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉と介護保険制度、障害者保険制度と障害者総合支援制度をふりかえる。演習を行う。			
第15回	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ2		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	虐待防止法、生活保護法、生活困窮者支援法等についてふりかえり演習を行う。			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活支援技術 I (被服)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 水2限	教室名	家政調理実習室
担 当 教 員	梶並 基榮子	実務経験と その関連資格	家政科非常勤講師として美作市立美作中学校勤務			
《授業科目における学習内容》						
家事の支援の基本となる裁縫の知識と技術を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
演習70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	手縫いの知識と技術を学ぶ。①	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料		
		各コマにおける授業予定	手縫いの基本的な縫い方を覚えて習得する			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	手縫いの知識と技術を学ぶ。②	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料		
		各コマにおける授業予定	手縫いの基本的な縫い方を覚えて習得する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	手縫いの知識と技術を学ぶ。③	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料		
		各コマにおける授業予定	手縫いの基本的な縫い方を覚えて習得する			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	手縫いの知識と技術を学ぶ。④	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料		
		各コマにおける授業予定	手縫いの基本的な縫い方を覚えて習得する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ①	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料		
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ②	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ③	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ④	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ⑤	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いの知識と技術を学ぶ⑥	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシンの操作を取得して実践できる様にする		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いと手縫いの知識と技術を学ぶ①	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシン縫いと手縫いを合わせての作品づくり		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	ミシン縫いと手縫いの知識と技術を学ぶ②	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	ミシン縫いと手縫いを合わせての作品づくり		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	オリジナルの作品作り①	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	自分で採寸、断裁、縫製の仕方がわかる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	オリジナルの作品作り②	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	自分で採寸、断裁、縫製の仕方がわかる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	作品を決めていく。	最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)、補助資料	
		各コマにおける授業予定	実技試験		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	発達と老化の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	前期 木曜2限	教室名	401
担当教員	川端 良幸	実務経験と その関連資格	柔道整復師 理学療法士 准看護師			
《授業科目における学習内容》						
高齢者に出現しうる疾病、その症状について深く学ぶ。また、介護福祉士として患者さんに対して何が出来るかを考える。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	保険医療職との連携		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護の基本Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) <small>時間(単位)</small>
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜2限目	教室名	401教室
担当教員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士			
《授業科目における学習内容》						
介護予防が必要になった背景や介護予防に関する基礎知識といった運動指導に必要な技術や理論を学習するとともに、科学的介護やエビデンスの活用という視点があることを知る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70%平常点10%出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
厚生労働省資料 介護予防運動トレーナー養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。						
《履修に当たっての留意点》						
地域ケアの視点から介護を要する方、介護が必要になる可能性のある方に運動指導を求められる場面が増えてきています。適切かつ科学的根拠に基づいた運動指導を安全に実施できるよう現場に出ていることを想定しながら学習しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防の背景やあり方、地域ケアシステムについて理解する	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防運動トレーナーの立ち位置、介護予防概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化や高齢者の身体的特徴について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防概論			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの定義・必要性・効果について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの指導・種類について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢化の現状と介護予防・日常生活支援総合事業について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防ケアマネジメント、介護リスクマネジメントの基本的な考え方について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の概念、原因、主な症状について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症症状への基本的な対応と予防について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿失禁をめぐる問題、尿失禁の種類や対策、排泄に必要な動作と対処方法について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	失禁予防理論		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒の定義、発生状況、要因について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒予防プログラムの作成方法と運動時のリスクマネジメントについて理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	予防に資する食の問題点、運動と食事の関係性について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	低栄養予防理論		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動の基本的な考え方や行動の法則、セルフエフェカシーについて理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	行動科学理論		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立、臥床時の身体負担と予防のためのポジショニング、シーティングについて理解することができる。	配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護予防と自立における基本的な介護の考え方		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学的介護、エビデンスの活用について知ることができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト 配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護実践、運動指導時のエビデンス活用と科学的介護		

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	健康科学講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) <small>時間(単位)</small>
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜1限目	教室名	401教室
担当教員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士			
《授業科目における学習内容》						
健康増進、スポーツ実践に資する基本的な運動やトレーニングとそれに関連する筋、骨格系、生理学等を学習する。パラスポーツやニュースポーツを調査し、体験することで理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70%平常点10%出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
やさしいスポーツ医科学の基礎知識(嵯峨野書院)						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。						
《履修に当たっての留意点》						
適切な介護、介護予防におけるかわりは基本的に生理学、身体構造、スポーツ障害などの知識が必要とされる。これを基本として現場で活用できるよう学習することができるよう心掛ける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素と栄養障害について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素の効果的な摂取について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と運動の関連について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニングの目的や原理原則を理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論④		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニングの目標設定、手順などの組み立てを理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論⑤		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	競技別のトレーニングの構築や戦術などの設定を理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング実践①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾患別トレーニングの考え方や注意点を理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング実践②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングについて基礎的な知識を理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	ストレッチング理論①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングについて基礎的な知識を理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	ストレッチング理論②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	テーピングの基礎知識を学習し理解できる	やさしいスポーツ 医学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習しておく
		各コマにおける授業予定	テーピング理論		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを理解し、ルールや実施手順を説明できる。	配布プリント	ニュースポーツやパラスポーツを調査、理解しておく
		各コマにおける授業予定	パラ、ニュースポーツ活動と参加①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ、ニュースポーツを通して、企画する事、参加してもらう事、実施することを体験する。	配布プリント	ニュースポーツやパラスポーツを参加者へ説明、実施できるようにしておく
		各コマにおける授業予定	パラ、ニュースポーツ活動と参加②		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	通年 金3時限	教室名	401
担当教員	三輪 香織	実務経験と その関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉士の知識を専門的に身に付け論文を作成、発表する。						
《成績評価の方法と基準》						
研究発表70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)						
《授業外における学習方法》						
研究に備えて、事前準備をする。福祉新聞を読む。						
《履修に当たっての留意点》						
研究テーマを決め、情報収集をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護研究について、発表までの流れを理解できる	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションを聞き、研究の授業の流れを知り、この取り組みが卒業研究になることを説明できる			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究とは 研究テーマの見つけ方を理解できる	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
		各コマにおける授業予定	なぜ研究を行うのか、介護研究とは、を説明できる			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索について理解出来る	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
		各コマにおける授業予定	文献とは何か、参考研究論文を探して自分の興味・関心は何かを説明できる			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索の目的を理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
		各コマにおける授業予定	参考研究論文を探して自分の興味・関心は何か探すことができる A4にまとめることができる			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索の結果疑問が明らかになったのか理解できる	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
		各コマにおける授業予定	気になったテーマのわかったこと、分からないことをまとめ、発表することができる。この先行研究は何をどのように明らかにしたのか、まとめて発表することができる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究仮グループで研究計画書「テーマ」について理解できる	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	テーマ別で仮グループを作り、仮テーマを決めることができる		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマで研究計画書を作ることを理解できる	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマについて」文献検索することができる テーマ選び・文献検索 仮テーマを決めることができる		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究動機、研究の背景を文献からまとめることを理解する 何が明らかになって、明らかになって異なることは何かを理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	研究計画書「動機、背景」について説明することができる		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選び・文献検索を理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	研究の背景を文献からまとめることができ、何が明らかになって、明らかになって異なることは何か、そこから自分たちは何を明らかにしていくのか、研究の目的を考えることができる		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「目的、倫理的配慮、仮説」について理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	目的、倫理的配慮、仮説を説明することができる		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「方法、倫理的配慮」について理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	方法、倫理的配慮を説明できる		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「倫理的配慮、仮説、研究の意義」について理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	倫理的配慮、仮説、研究の意義を説明できる		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「仮説、方法」について理解する	福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
		各コマにおける授業予定	仮説、方法を説明できる		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	通年 金3時限	教室名	401
担当教員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉士の知識を専門的に身に付け論文を作成、発表する。						
《成績評価の方法と基準》						
研究発表70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)						
《授業外における学習方法》						
研究に備えて、事前準備をする。福祉新聞を読む。						
《履修に当たっての留意点》						
研究テーマを決め、情報収集をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	論文の内容を把握できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
	各コマにおける授業予定	前期の振り返り				
第17回	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを準備できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
	各コマにおける授業予定	研究発表の仕方				
第18回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
	各コマにおける授業予定	データの整理				
第19回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
	各コマにおける授業予定	データの整理				
第20回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)		
	各コマにおける授業予定	データの整理				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理			
第22回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第23回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第24回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第25回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。構成を理解できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第26回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成をすることができる。構成を理解できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第27回	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを準備できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第28回	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを準備できる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	データーの整理 考察 結論について			
第29回	授業を通じての到達目標	発表会をすることができる。他者の介護観を知ることができるようになる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	研究論文完成			
第30回	授業を通じての到達目標	発表会をすることができる。他者の介護観を知ることができるようになる。		福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方(中央法規) 介護福祉士・介護学生のための介護福祉研究入門(ひかり保育社)	
	各コマにおける授業予定	研究論文完成 まとめ			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	通年 火曜4限	教室名	401
担当教員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて学べば。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規出版)/実習と記録(滋慶出版)						
《授業外における学習方法》						
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。実習と記録はタブレットを使用。						
《履修に当たっての留意点》						
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/10)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/17)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習	教科書の指定部分を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り(4/24)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる	PC、実習日誌	PPTの作成を進める	
		各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/8)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる			
		各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/15)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習報告会準備(PPTの作成)(5/22)		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習報告会に向けた練習をする(5/29)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱに向けた準備ができる		
		各コマにおける授業予定	「個人票」「実習を前にして」の下書き(6/5)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱに向けた準備ができる		
		各コマにおける授業予定	「個人票」「実習を前にして」の清書(6/12)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱに向けた準備ができる		
		各コマにおける授業予定	レクリエーションの計画 企画案作成		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅱ-②の実習における日誌力 介護過程の理解ができる		
		各コマにおける授業予定	実習中日誌の確認 介護計画対象の立案実施の準備作成		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅱ-②の実習における日誌力 介護過程の理解ができる		
		各コマにおける授業予定	実習中日誌の確認 介護計画対象の立案実施の準備作成		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅱ-②の実習における日誌力 介護過程の理解ができる		
		各コマにおける授業予定	実習中日誌の確認 介護計画対象の立案実施の準備作成		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅱ-②の実習における日誌力 介護過程の理解ができる		
		各コマにおける授業予定	実習中日誌の確認 介護計画対象の立案実施の準備作成		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅱ-②の実習における日誌力 介護過程の理解ができる		
		各コマにおける授業予定	実習中日誌の確認 介護計画対象の立案実施の準備作成		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	通年 火曜4限	教室名	401
担当教員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて学べば。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規出版)/実習と記録(滋慶出版)						
《授業外における学習方法》						
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。実習と記録はタブレットを使用。						
《履修に当たっての留意点》						
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にて介護実習の振り返りができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	実習報告会			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己の介護観、職業観を知ることができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護過程の流れの理解か確認できていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	後期まとめ 試験対策		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時間	通年 金曜2限	教室名	401
担当教員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において、介護福祉士の知識・技術を確認する。また他検定試験に向けて対策をする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(模擬試験) 70% 出席評価点 20% 平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験書いて覚える合格ドリル/介護福祉士国試ナビ/過去問題集						
《授業外における学習方法》						
過去問題を解き、問題の傾向性を把握する。問題の頻出度を確認し対策をする。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験講座で、模擬試験を実施する。評価基準になる模擬試験なので十分に対策するように。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を解き、習得度が確認できる。	過去問題集 その他テキスト		過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	第38回(2025年度)国家試験問題を解く。(午前問題)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を解き、習得度が確認できる。	過去問題集 その他テキスト		過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	第38回(2025年度)国家試験問題を解く。(午後問題)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を解き、習得度が確認できる。	過去問題集 その他テキスト		過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	自己採点し、現時点での習得度・理解度を確認する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題集を活用し、得意分野・苦手分野を把握する。	過去問題集 その他テキスト		過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	最強苦手科目 苦手科目集中 模擬問題を解き解説			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題集を活用し、得意分野・苦手分野を把握する。	過去問題集 その他テキスト		過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	最強苦手科目 苦手科目集中 模擬問題を解き解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題集を活用し、得意分野・苦手分野を把握する。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	最強苦手科目 苦手科目集中 模擬問題を解き解説		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問・模擬問題を解き、復習する。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(社会の理解)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問・模擬問題を解き、復習する。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(社会の理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問・模擬問題を解き、復習する。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(介護の基本)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	集中講座	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(社会の理解)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	集中講座	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(認知症の理解)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	集中講座	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(社会の理解)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を解き、習得度が確認できる。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(障害の理解)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	集中講座	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(社会の理解)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総まとめを行い、習得度を確認する。	過去問題集 その他テキスト	過去問題集や国家試験のテキストを参考に学習する。国試ナビを活用する。
		各コマにおける授業予定	問題集を活用し、後期の予定を立てる		

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対象学年	2年		学期	前期	教室名	
担当教員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸維持の必要性、呼吸のしくみを説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・生命維持における呼吸の重要性について ・呼吸のしくみと主な呼吸器官の各部の名称と機能について ・換気とガス交換について理解する 		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	いつもと違う呼吸状態を推測する為の項目、呼吸の苦しさがもたらす苦痛と障害が説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	いつもと違う呼吸状態、呼吸困難がもたらす苦痛と障害について理解する		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引が必要な状況を説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	・痰を生じて排出するしくみや・痰の貯留を示す状態、喀痰吸引が必要な状態について理解できる		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	人工呼吸器のしくみ生活支援における留意点が説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人工呼吸器装着者に対する吸引、生活支援の留意点、人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医療職との具体的な連携内容について理解する		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	子供の吸引に関する留意点や利用者・家族の吸引に対する気持ちに沿った対応を行う為の必要性を説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日より取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	・子供の吸引の留意点、利用者、家族の気持ちに沿った対応と留意点について理解する		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	・吸引に伴う呼吸器系の感染の状態と感染予防策、喀痰吸引に伴う危険、事後の安全確認について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の感染が起きた可能性を示す状態を知りまた感染の予防する為の予防策を理解する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引実施する事で生じる危険について学ぶと共に急変や事故発生時の対応について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急を要する状態の対応方法と急変、事故発生時の対応、多職種との連携体制について理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引で用いる物品の取り扱い、喀痰吸引の手順の留意点について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引の一連の流れの留意点、ケア、実施後の報告の仕方について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養概論を学ぶことで消化器系の役割・機能、消化・吸収のしくみを説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・消化器管のしくみと役割、機能、嚥下のしくみについて理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	消化・吸収とよくある消化器症状について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・消化・吸収、よくある消化器の症状について理解する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養とは何かを知り、栄養を注入する際に必要な知識について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・経管栄養が必要な状態、経管栄養のしくみと種類、経管栄養剤の種類、投与方法について理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養実施時の留意点について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・経管栄養の実施時の留意点、子供の経管栄養について理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養に関係する感染予防について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	経管栄養を行っている状態の感染予防と口腔ケアの重要性について理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養を受ける利用者と家族の気持ちと対応、説明と同意について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・本人、家族の経管栄養に対する気持ちにそった対応と留意点、経管栄養の実施に関する説明と同意について理解する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認や急変、事故発生における対応について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	経管栄養により生じる危険の種類、ヒヤリハット・アクシデントの実施と報告、緊急を要する症状について理解する		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
医療的ケア・吸引/経管栄養 1、基本研修(講義形式、定時間50時間以上)2、演習(基本研修修了者)3、喀痰吸引(航空・鼻腔5回以上)気管カニューレ内部5回以上)4、経管栄養(胃ろうまたは腸瘻5回以上、経鼻経管栄養5回以上)5、実施研修(可能な限り)*併せて救急蘇生法演習についても1回以上実施						
《成績評価の方法と基準》						
①医療的ケア行為が安全に施行できること②ケアにより利用者の苦痛が取り除けたり、軽減できること③利用者・家族の命を守り、生活の質の向上に結び付くこと④介護福祉士のモチベーションとなり、高揚、維持に結び付くこと⑤医療的ケアを行うことで介護福祉士の社会的評価に結び付くこと。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
実技:4回実施後5回目試験 5回目に合格しなければ、合格するまで実施 5回目で合格とそれ以降で合格70%+ 評価:合格70%+出席と授業態度30%						
《履修に当たっての留意点》						
高齢者を支援できるよう学ぶ。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔、鼻腔、気管カニューレからの喀痰吸引の手順と留意点について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、口腔、鼻腔、気管カニューレからの吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔からの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	口腔からの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	鼻腔からの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	鼻腔からの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻、経鼻、腸瘻による経管栄養の手順が説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる 腸瘻による経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	胃瘻腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策 胃瘻腸瘻による経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	腸瘻による経管栄養の演習ができる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習、腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生法、AEDの使い方について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使って救急蘇生法、AEDを用い、一連の救助活動を理解する		

2026（令和8）年度 授業計画（シラバス）

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分		授業の方法		講義	
科 目 名	生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30(1)時間(単位)		
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水曜 3限	教室名	401		
担 当 教 員	杉井 将俊	実務経験と その関連資格	社会福祉士、サービス管理責任者、第一種衛生管理者					
《授業科目における学習内容》 障害者児を取り巻く環境と福祉サービスの状況や変遷、利用等の理解。 多岐にわたる障害者児の障害特性、心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。								
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験：70% 2. 出席状況：20% 3. 授業（演習含む）態度：10%								
《使用教材（教科書）及び参考図書》 最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅲ」（中央法規出版） 最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」（中央法規出版）								
《授業外における学習方法》 講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達								
《履修に当たっての注意点》 講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。								
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第 1 回	講義	授業を 通じての 到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害、疾病について現状での学習状況を整理できる。	教科書				
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、障害に応じた支援とは					
第 2 回	講義	授業を 通じての 到達目標	身体障害のある方の状態像を理解できる。	教科書				
		各コマに おける 授業予定	これまでの学習の振り返り 生活や環境の把握について					
第 3 回	講義	授業を 通じての 到達目標	肢体不自由の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書				
		各コマに おける 授業予定	肢体不自由のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応					
第 4 回	講義	授業を 通じての 到達目標	視覚障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書				
		各コマに おける 授業予定	視覚障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応					
第 5 回	講義	授業を 通じての 到達目標	聴覚、言語障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書				
		各コマに おける 授業予定	聴覚、言語障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義	授業を通じての到達目標	視覚、聴覚障害（重複）の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	重複障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第7回	演習	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について①		
第8回	講義	授業を通じての到達目標	内部障害（心臓機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	心臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第9回	講義	授業を通じての到達目標	内部障害（呼吸器機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	呼吸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第10回	演習	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について②（家族との関わり）		
第11回	講義	授業を通じての到達目標	内部障害（腎臓機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	腎臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第12回	講義	授業を通じての到達目標	内部障害（膀胱、直腸機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	膀胱、直腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第13回	演習	授業を通じての到達目標	医療的ケアが必要な方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	医療的ケアが必要な方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について		
第14回	講義	授業を通じての到達目標	内部障害（小腸機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	小腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第15回	講義	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、自分の力で要点をまとめることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	前期の総括講義と試験対策		